

謹啓 晩秋の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本年三月十一日に発生いたしました東日本大震災に際しまして、全国老人クラブ連合会を通じ被災地に対する救援拠金を謹んで受領いたしました。

全国の老人クラブ会員の皆様の温情あふれる真心のこもった「元気袋」等のご支援に対しありがたく厚く御礼申し上げます。

今回の震災では、本県の太平洋沿岸を中心に甚大な被害をもたらしました。

十一月二日現在の人的被害は、死者九千四百六十二名、行方不明者二千六名、負傷者四千八名となっており住家の被害では、全壊七万七千二十一棟、半壊九万三千三百七十八棟、一部損壊十七万八千二百二十一棟と大きな被害を受けました。

震災発生後八月を過ぎようとしていますがその後の余震による被害も含め、いまだに正確な被害状況は、つかめない現状となっております。

被災された方々は、現在ほぼ一時避難所での生活を終え、仮設住宅や県内・県外での避難生活を続けているところであります。

このようなことから沿岸部の老連では、いまだに会員の所在の確認ができず従来の組織活動も行えない状態となっているところもございます。

県老連といたしましても、各市町村老連と一丸となって全国の仲間の皆様からお寄せいただいた善意を活かし「復興へ頑張ろう！みやぎ」を合言葉に一日も早く元気と笑顔を取り戻せるよう老人クラブの再興・復興に取り組んでまいり所存でございます。

皆様のご支援に対する御礼が遅くなりましたこと、なにとぞご容赦のほどお願い申し上げます。

甚だ略儀ではございますが書中をもちましてご報告かたがたご厚情及びご支援の御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

末筆ではございますが、貴会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

平成二十三年十一月十日

各都道府県老人クラブ連合会 様
各指定都市老人クラブ連合会 様

財団法人 宮城県老人クラブ連合会
会長 坂本 せん